

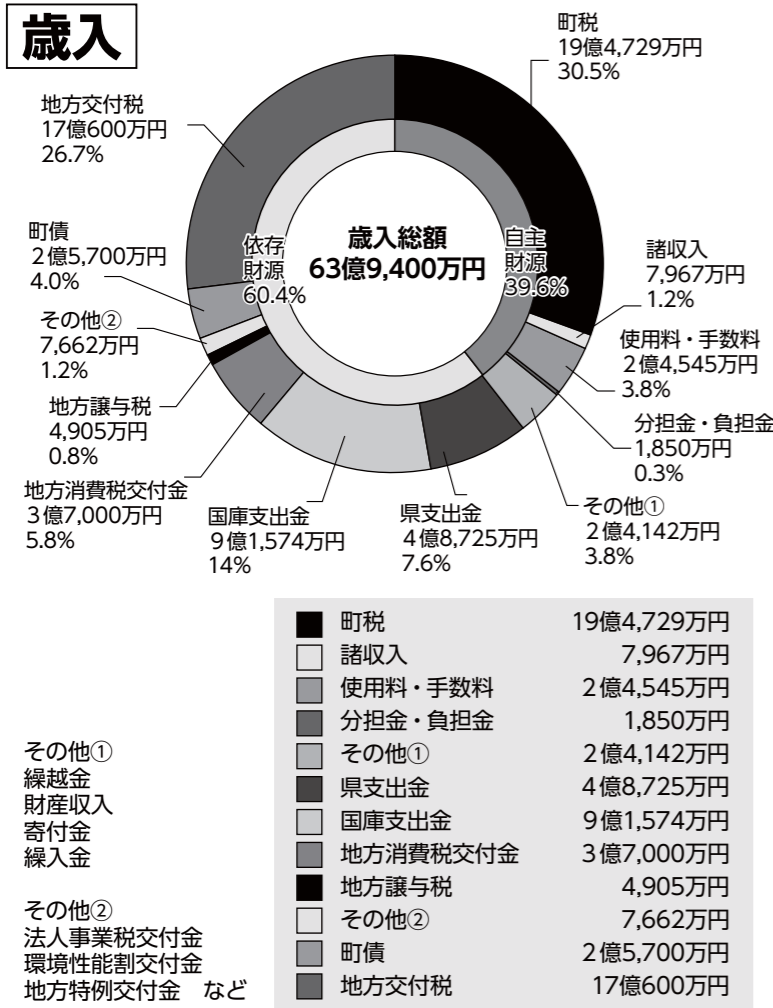
令和3年度 当初予算

予算総額126億円 一般会計総額 63億9,400万円

町の令和3年度の当初予算が3月議会で可決されました。特別会計を含めた全会計の予算規模は、総額で126億298万円となり、令和2年度当初予算に比べて約5,580万円の増額となっています。

また、一般会計の予算規模は、総額63億9,400万円で令和2年度当初予算に比べて8,500万円の減額となっています。

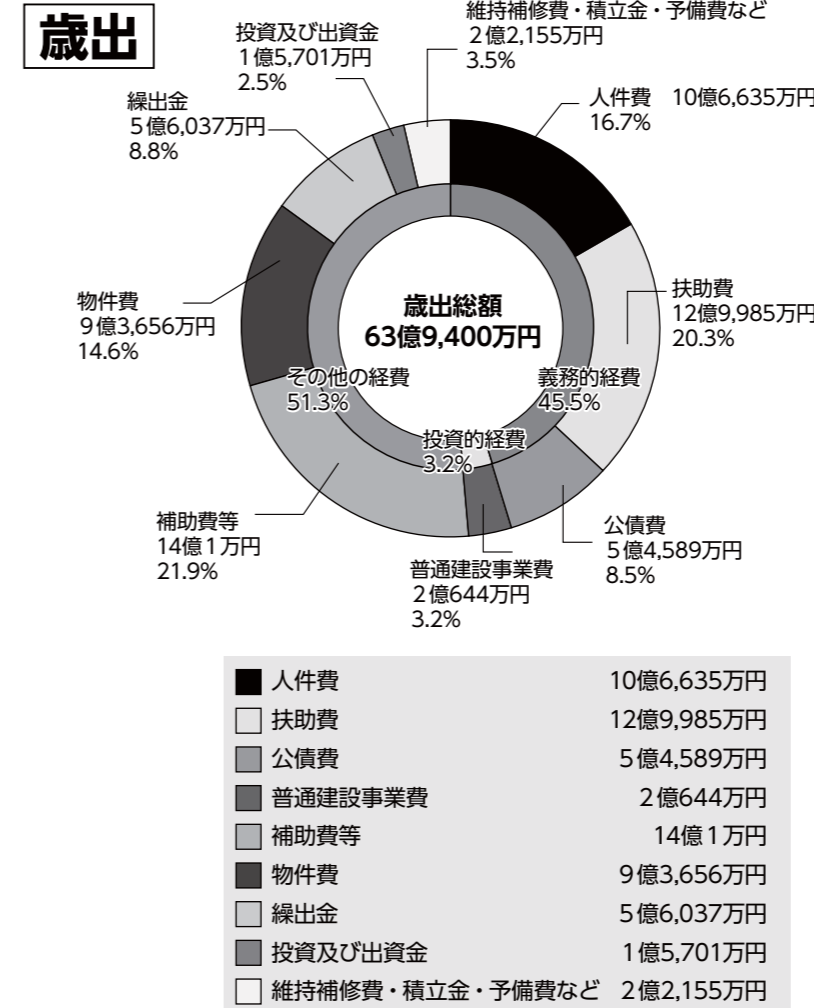
これは、町長の改選を踏まえて政策的経費を極力抑え、義務的経費を中心に編成した骨格予算になっていることが主な要因です。



歳入には、自主財源と依存財源があります。町税など、町が自主的に収入することができる財源（自主財源）は25億3,233万円で、全体の39.6%です。そのほとんどが町民の皆さんの納める町税となっています。

また、国や県から、定められた額の交付を受けて割り当てられた収入（依存財源）が38億6,166万円で、全体の60.4%を占めています。

主なものは、地方交付税と呼ばれるものや国・県のお金です。



歳出を性質別（どのような性質の経費がどのくらい使われたのかを示すもの）に見ると、人件費、扶助費（児童・高齢者・障がい者などの福祉に使われる経費）、公債費（借金の返済）などに義務付けられている経費（義務的経費）は、29億1,209万円で全体の45.5%（前年度当初予算に比べ1.3%増）を占めています。

道路や施設建設に使われる経費（投資的経費）は、2億644万円で前年度当初予算に比べ58.7%減となっていますが、これは令和3年度当初予算が義務的経費を中心に編成した骨格予算であることが大きな要因です。また、令和2年度に比べ大きく伸びているのが物件費（消費的経費）です。その要因としては、ふるさと納税事業をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策に関するさまざまな事業や、ワクチン接種に伴う接種体制づくりに向けた事業の予算が編成されているためです。

令和2年度 補正予算

令和2年度の一般会計補正予算が3月議会において可決されました。一般会計の補正予算額は7億4,085万円で、一般会計予算総額は101億7,216万円です。

可決された補正予算は、『国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策』を実現するために国が編成した補正予算を活用して実施する事業を軸としており、国土強靱化、教育振興などに大きく寄与するものです。

補正予算の主な内容	金額
◆町営住宅整備事業	2億3,000万円
◆道路等整備事業	2億1,500万円
◆小学校体育館長寿命化事業	1億1,094万円
◆新学校給食センター建設事業	2億2,920万円

会計名	予算額	前年度との増減率
国民健康保険特別会計	22億1,200万円	△0.49%
介護保険特別会計	18億100万円	+2.39%
後期高齢者医療特別会計	2億3,240万円	+2.38%
水道事業会計	収益的支出（3条）	2億2,071万円 △7.5%
	資本的支出（4条）	2億3,066万円 +141.7%
下水道事業会計	収益的支出（3条）	7億9,797万円 △4.4%
	資本的支出（4条）	7億1,423万円 +3.4%

特別会計とは、特定の収入をもって特定の支出にあてるような事業について、その収支を明確にするため一般会計と区別して設けられるものをいいます。この会計の設置は法律に基づくもののほか、すべての条例に基づかなければなりません。

町では『国民健康保険特別会計』『介護保険特別会計』『後期高齢者医療特別会計』『水道事業会計』『下水道事業会計』の5つの特別会計が設置されています。